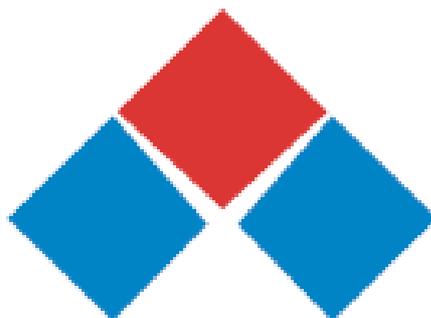


# 環境報告書

平成29年度(2017)

---

レポート報告期間:平成28年9月1日～平成29年8月31日



**Suzuyo**

鈴与建設

環境安全管理室

---

# 環境報告書 <2017>

## ● 国外トピックス

2016年11月、「パリ協定」が発効されました。地球温暖化対策のための国際的枠組みが発効するのは2005年2月の「京都議定書」以来となります。先進国だけでなく途上国も含めすべての国が参加する、温室効果ガス排出削減の取り組みがスタートしました。

温暖化の影響とみられる異常気象や自然災害が相次ぐ現状に世界各国が危機感を抱き、55カ国以上批准などの発効要件を短期にクリアしたことになります。

パリ協定は、2020年以降に始動する国際的な温暖化対策で、すべての参加国が5年ごとに自主的な温室効果ガスの削減目標を提出し、目標達成のために対策が義務付けられています。地球の平均気温の上昇を産業革命以前から2℃未満に抑え、それが1.5℃になるように努力する目標も併記されています。

日本が掲げる中期目標は、2030年度に温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減することを国連に出しており、今後は、枠組みのスタートまでに各国の目標や対策が適切かどうかの判断の仕方など、細かなルールづくりが実施されることになります。

日本は、そうした目標を達成するために、徹底した省エネ対策、再生可能エネルギーの積極導入、革新的な技術開発の促進、火力発電所の高効率化や安全性が確認された原子力発電の活用などが明記されています。

## ● 国内トピックス

2017年2月、気象庁は2016年の世界と日本の年平均気温(偏差)の確定値を公表しました。世界の年平均気温偏差は、長期的には100年当たり0.72℃の割合で上昇し、また、日本は1.19℃の割合で上昇しており、いずれも統計開始以来、最も高い値を更新していることがわかりました。このことを踏まえて、地球温暖化対策に関する世論調査でも「温暖化に関心があり」と回答した割合が9割と高い値を示しています。

これらのことから、2020年の東京五輪の環境パフォーマンスとして「都市鉱山からつくる・みんなのメダルプロジェクト」で、東京大会の入賞メダルを回収したリサイクル金属(使用済携帯電話、パソコン、デジタルカメラ)で製作しようとする取り組みが行われて、国民の関心を集めています。

## ● 社内トピックス

弊社も、微力ながら環境配慮型社会の形成を目指し、持続可能な資源の利用、温室効果ガスの発生量の削減に努めています。

主な内容は、静岡県が推進する、「平成28年度 産廃3Rキャンペーン」の計画目標を達成した「産廃トップランナー」として、静岡県のホームページで実績を公表されました。これは、各建設現場において廃棄物の発生抑制・減量化、再生利用の促進に関して積極的に削減を図り、地球温暖化防止活動や環境配慮型の工事の取り組みの結果として、総合的に温室効果ガスの削減にも繋がっています。

詳細については、次項の「環境パフォーマンス・環境保全活動・社会貢献活動」に示しています。



● 静岡県 産廃3Rキャンペーン加入

## 平成 28 年度産廃3Rキャンペーン実績の公表

静岡県では、循環型社会の形成を目指して、県内の産業廃棄物の排出事業者が自主的に行う削減に向けた取組を推進する「産廃3Rキャンペーン」を行っています。平成28年度の実績をとりまとめたので、その結果を公表します。

### ■目標達成事業者の公表

産廃3Rキャンペーンに参加いただいた事業者のうち、平成28年度に削減目標（自主目標）を達成した事業者を紹介します！

#### ▽排出部門（産業廃棄物の排出量削減）（参加7事業者中、6事業者が自主目標を達成）

事業者名（五十音順）	事業種類	過去の削減目標 達成年度
KJ特殊紙株式会社	紙製造業	—
杉山メディアサポート株式会社	印刷または製本業	—
鈴与建設株式会社	建設工事業	平成25年度 平成27年度
メルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社 静岡事業所	化学工業	平成25年度～
矢崎部品株式会社 牧之原工場 鷲津分工場	製造業 (自動車用組電線)	平成23年度～
ヤマハファインテック株式会社	製造業 (輸送用燃器具)	平成23年度～

#### ▽最終処分部門（産業廃棄物の最終処分率低減）（参加事業者1）

事業者名	事業種類	過去の削減目標 達成年度
メルクパフォーマンスマテリアルズ株式会社 静岡事業所	化学工業	平成24年度～

#### ▽主な削減の取組

- ・ 排出時の分別徹底
- ・ 発生抑制の教育
- ・ 工程、仕様等の変更
- ・ 処分業者実地確認
- ・ 有価物化の促進
- ・ 分別方法の周知
- ・ リサイクル可能な業者選定及び指導
- ・ ゼロエミッション（廃棄物をゼロにすること）の継続 等
- ・ 定期教育の実施
- ・ 廃棄物置場の巡回

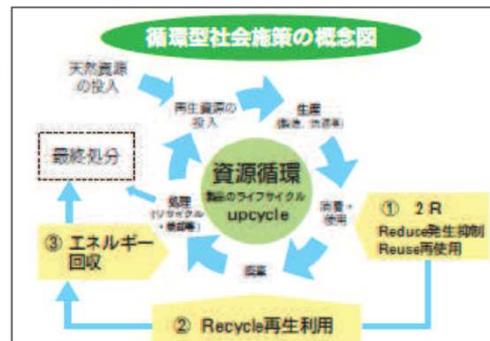
<産廃3Rキャンペーンとは>（平成23年度から実施）

第3次静岡県循環型社会形成計画（平成28～32年度）における産業廃棄物の削減目標を達成するため、排出部門と最終処分部門の2部門で実施。キャンペーンへの参加申込みをした事業者は、毎年度、削減目標（自主目標）を設定して産廃の3Rに取り組み、取組実績を県に報告するというものです。

産廃3Rキャンペーンへの参加受付は、随時行っています。ぜひ、御参加ください！

<問合せ・申込み先>

静岡県廃棄物リサイクル課 資源循環班  
 電話 054-221-2137 FAX054-221-3553  
 E-mail : hai@pref.shizuoka.lg.jp



● 社内表彰工事紹介

平成29年度 社長表彰 最優秀賞（建築）

平成27年度 静岡市清水斎場建設工事 発注者：静岡市  
静岡市発注工事で評価点84点を獲得し、静岡市優良工事、技術者表彰を受賞した。斎場という特殊な建物であるが、別途発注工事とも連携をとることで全体をまとめ、利益面でも貢献した



平成29年度 社長表彰 最優秀賞（土木）

平成26年度 蒲原第一浄水場緩速ろ過施設築造工事 発注者：静岡市  
山間部の狭隘な現場条件の中、現場発注品を有効利用することにより効率的な施工方法を発注者に提案し、工事の円滑な進捗に貢献した。また変更交渉においても、利益面で大幅に確保した



● 環境パフォーマンス

環境負荷・環境影響の状況一覧表

環境パフォーマンス一覧表

事業の規模

活動規模	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
当社年度完工高	千万円	1,900	2,120	2,078	2,000	2,500	2,950	2,680	年度事業計画レビュー
公共年度完工高	千万円	1,652	1,726	1,532	2,033	1,568	2,751	—	完成工事実績
従業員	人	191	191	188	193	211	220	220	4/派遣社員含む
事業所延床面積	m <sup>2</sup>	2,467	2,467	2,467	2,467	2,467	2,467	2,911	別館事務所の追加

環境への負荷の状況（取りまとめ表）

当社年度	前年9月～当年8月	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
(1) 総エネルギー投入量	購入電力	GJ	6,823	7,052	7,225	9,037	8,855	9,280	9,925	省エネ法に基づく電気及び各燃料等の使用量を把握するため熱量換算係数(ジュール)により算出。ある抵抗に電流を流すと必ず発熱します。この熱をジュール熱といます。GJは、仕事量、熱量及び電力量の単位、ジュールの10 <sup>9</sup> 倍
	化石燃料		13,124	13,321	13,296	16,040	13,093	8,972	5,335	
	新エネルギー		0	0	0	0	0	0	0	
	計		19,947	20,373	20,521	25,077	21,948	18,252	15,260	
(2) エネルギー使用量	原油換算	KL	514	525	529	646	566	471	394	KLは、電気・ガソリン・重油・ガスなど、異なるエネルギーや燃料を共通の単位を用いて合計・比較 省エネ法では1,500KL以上は「特定事業者」の指定対象
(3) 温室効果ガス排出量	総排出量	t-CO <sub>2</sub>	1,219.0	1,246.0	1,283.0	1,568.0	1,355.0	1,092.2	852.0	事業活動に伴う温室効果ガスの排出量を二酸化炭素の重量に換算した、1平方メートルの年度排出量は、総排出量の削減：0.60 t-CO <sub>2</sub> /千万円
	完成工事高換算	t-CO <sub>2</sub> /千万円	0.64	0.59	0.62	0.78	0.54	0.37	0.32	
	オフィス活動等	t-CO <sub>2</sub> /				470/0.24	451/0.18	475/0.16	461/0.17	
(4) 電力使用量	個別工事施工段階	t-CO <sub>2</sub> /千万円				1,098/0.55	904/0.36	617/0.21	392/0.15	平成26年度を基準として、売上高当たり排出量を平成30年度までに3%削減する。平成29年度目標：2%削減。オフィス：0.23 t-CO <sub>2</sub> /千万円・個別工事：0.54 t-CO <sub>2</sub> /千万円
	本社・支店等	千kw	277.0	234.5	217.8	200.9	193.1	195.7	211.5	
(5) 水資源投入量	全現場	m <sup>3</sup>	407.4	474.1	520.1	705.5	888.2	735.1	784.0	地域への影響が大きい項目として数値を把握（水道水の使用量）
	本社・支店等		1,219	1,326	1,352	1,115	1,108	1,055	1,077	
	計		11,218	14,811	8,772	17,831	12,962	7,702	17,368	
(6) 産業廃棄物排出量	再生利用	t	12,437	16,137	10,124	18,946	14,070	8,757	18,445	公共年度の集計となる。持続可能な循環型社会の構築を図る。
	単純焼却		47,459	46,359	44,303	25,848	27,175	21,941		
	その他		0	0	0	0	0	0		
	最終処分量		1,713	197	1	190	232	8		
	計		49,172	46,556	44,304	26,038	27,406	21,949		
公共年度	前年4月～当年3月	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
完成工事高換算	t/千万円	29.8	27.0	28.9	12.8	17.5	8.0			

(1) 各事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取り組み

1) 地球温暖化対策

◆省エネ法による年間のエネルギー使用量(原油換算値)の合計が下記のとおり、1,500KL未満で特定事業者の指定としては、対象外となっています。

① 総エネルギー投入量

熱量換算係数(J)により算出

・省エネ法に基づく電気及び各燃料等の使用量を把握するため熱量換算係数(J:ジュール)により算出しています。

基準年度(平成23年度) : 19,947 GJ  
平成29年度 実績 : 15,260 GJ  
 基準年度値に対する増減 : 4,687 GJ の減少

② エネルギー使用量

原油換算(KL:キロリットル)により算出

・KLは、電気・ガソリン・重油・ガスなど、異なるエネルギーや燃料を共通の単位を用いて合計・比較しています。

基準年度(平成23年度) : 514 KL  
平成29年度 実績 : 394 KL  
 基準年度値に対する増減 : 120 KLの減少

## 2) 年度別 原油換算及びエネルギー使用量の比較(過去4年間)



省エネ法1,500kl以上は、「特定事業者」の指定対象となるが、当社は該当しない。

### ● 環境保全活動報告

環境方針を受け、平成29年度の全社環境目的・目標を設定して取り組んできました。基準年度の目標値に対する活動結果は下表のとおりとなりました。この結果の内容を分析し、平成30年度の目標と活動項目を修正した上で活動を継続していきます。

#### (2) 平成29年度 温室効果ガスの排出量に対する実績

##### 1) 地球温暖化防止・省エネルギーによる二酸化炭素排出量(t-CO<sub>2</sub>)の実績

全社CO<sub>2</sub>の総排出量の削減目標 : 平成29年度目標値 1,536 t-CO<sub>2</sub>/年(基準年度「26年度」の2%削減)

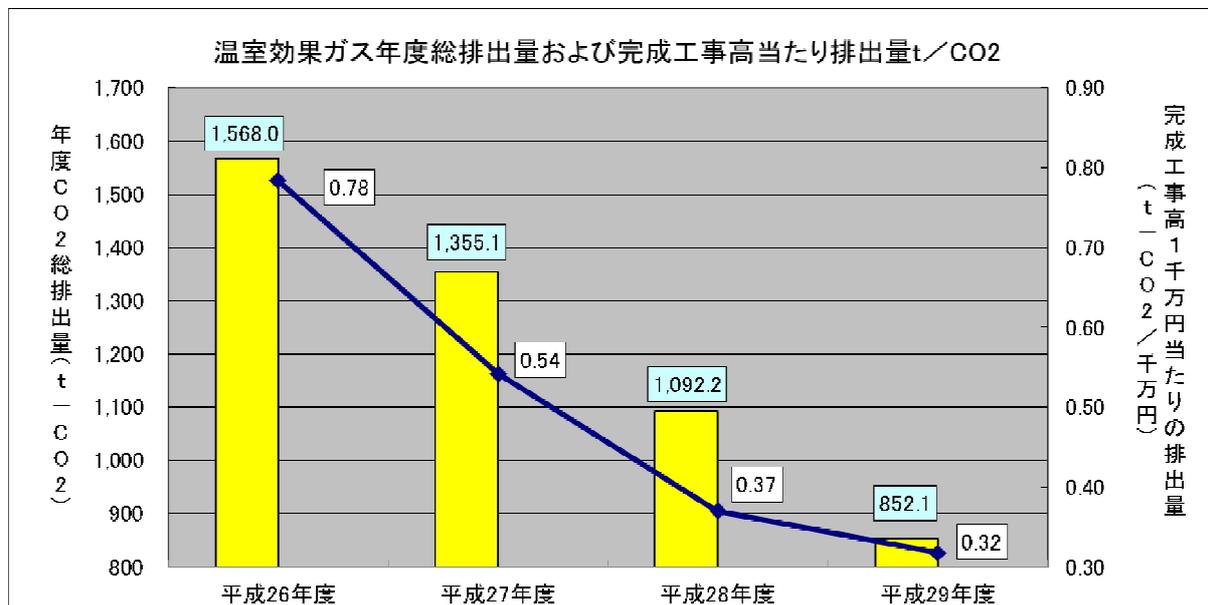
平成29年度 排出量実績 : 852 t-CO<sub>2</sub>/年 達成

内訳 ①本社、支店、ガソリン等 460.5 t-CO<sub>2</sub>

②個別工事 燃料費含む 391.6 t-CO<sub>2</sub>

個別工事 完工高(千万円)当たり目標 : 0.60 t-CO<sub>2</sub>/千万円

平成29年度 排出量実績 : 0.32 t-CO<sub>2</sub>/千万円 達成



2) 平成28年度の目標 オフィス活動と個別工事施工段階の管理

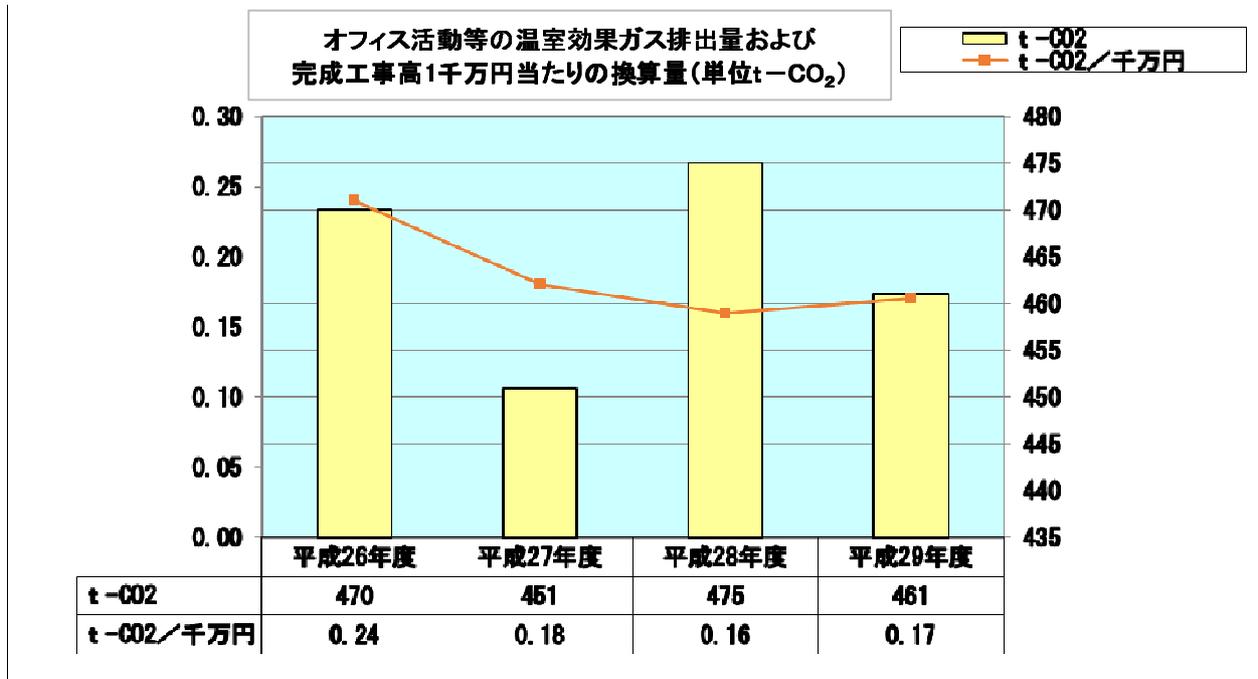
① オフィス活動(本社・支店・営業所等)

平成26年度を基準年度として、総排出量を平成30年度までに3%削減する。

平成26年度 基準値:470t-CO<sub>2</sub>/年 平成29年度 目標値:461t-CO<sub>2</sub>/年以下

完成工事高1千万円当たり基準値:0.24t-CO<sub>2</sub>/千万円 平成29年度 目標値:0.23t-CO<sub>2</sub>/千万円以下

平成29年度 排出量実績 目標値に対して0.17t-CO<sub>2</sub>/千万円 達成



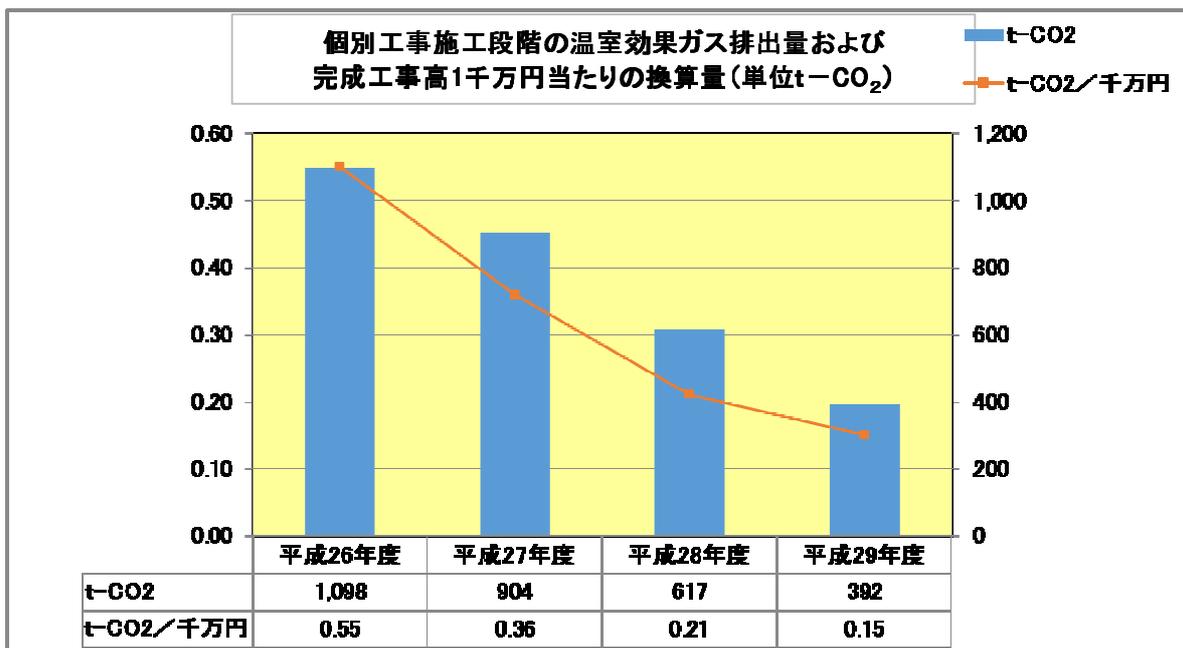
② 個別工事施工段階

平成26年度を基準年度として、完工高当たり換算(千万円)を平成30年度までに3%削減する。

平成26年度 基準値:1,098t-CO<sub>2</sub>/年 平成29年度 目標値:1,076t-CO<sub>2</sub>/年以下

完成工事高1千万円当たり基準値:0.55t-CO<sub>2</sub>/千万円 平成29年度 目標値:0.54t-CO<sub>2</sub>/千万円以下

平成29年度 排出量実績 目標値に対して0.15t-CO<sub>2</sub>/千万円 達成



(3) 平成29年度 個別工事における環境負荷の実績

1) 個別工事施工段階の年間総電力使用量

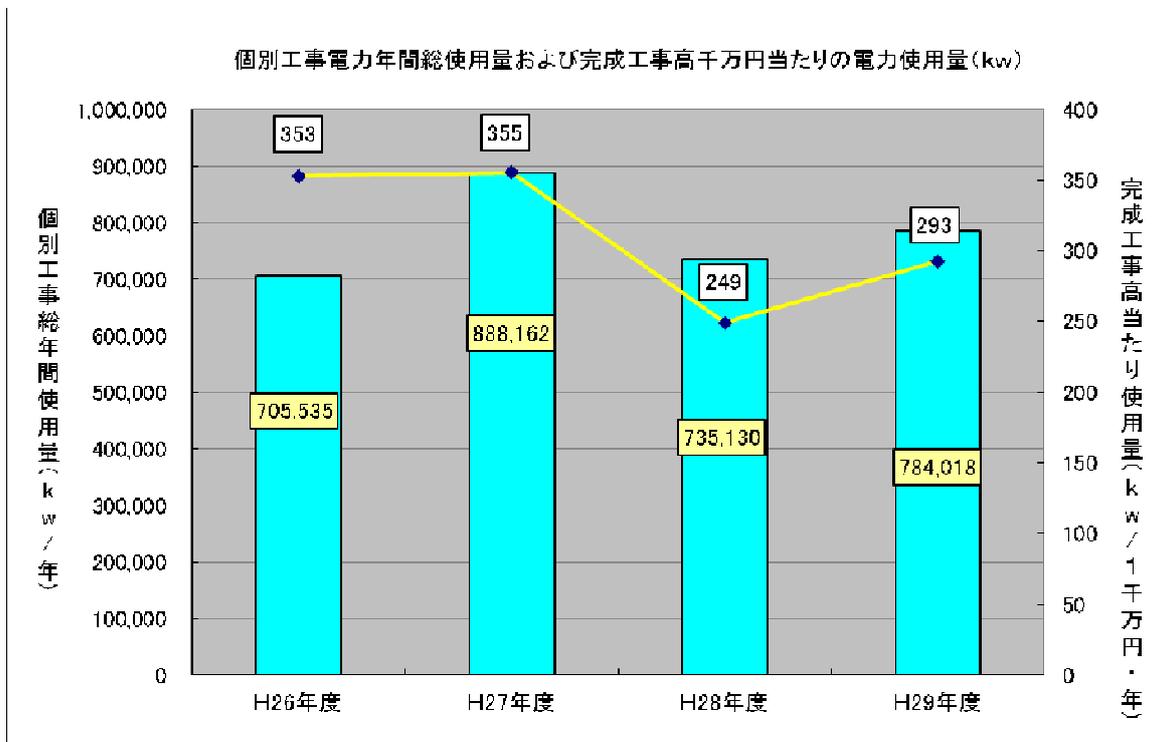
平成26年度を基準年度として、完工高当たり換算(千万円)を平成30年度までに3%削減する。

平成26年度 基準値:705,535kw/年 平成29年度 目標値:691,142kw/年以下

完成工事高1千万円当たり基準値:353kw/千万円 平成29年度 目標値:342kw/千万円以下

平成29年度 排出量実績

目標値に対して293kw/千万円 達成

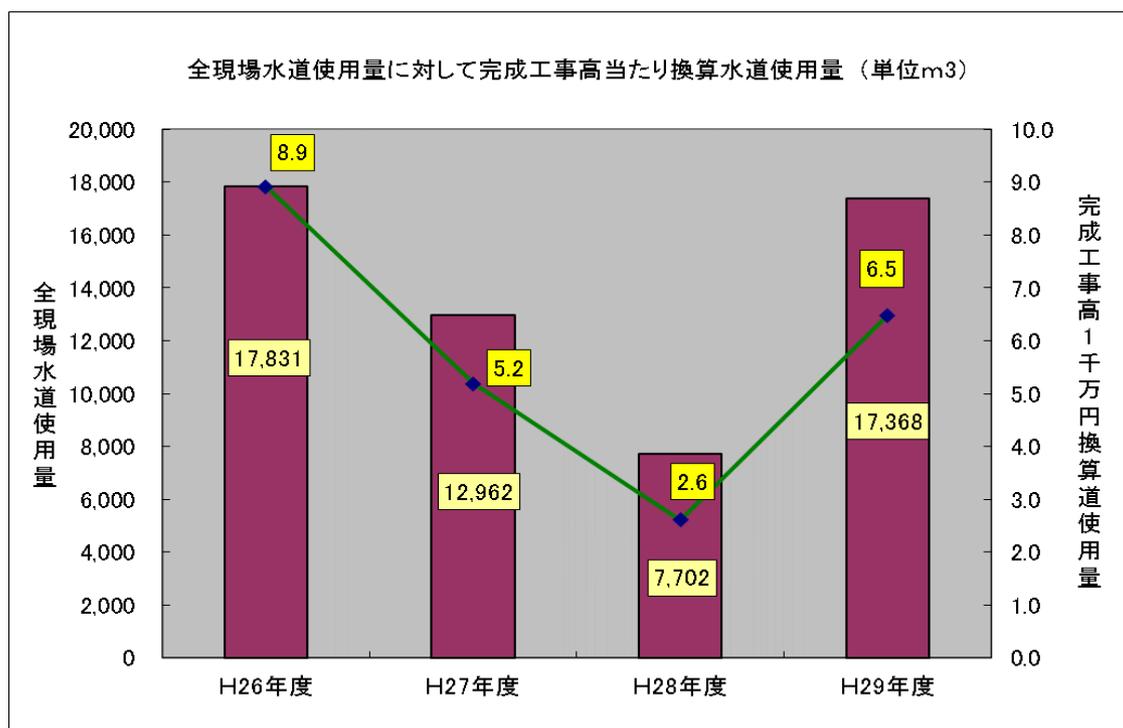


2) 個別工事施工段階の水資源使用量

全現場の水道使用量に対する完成工事高当たり換算使用量の目標値 :6.6m<sup>3</sup>/千万円

平成29年度 使用量実績

:6.5m<sup>3</sup>/千万円 達成



### 3) 産業廃棄物総排出量の実績(公共年度)

全社廃棄物排出総量の削減目標値 : 基準年度2%削減目標値 33,286 t

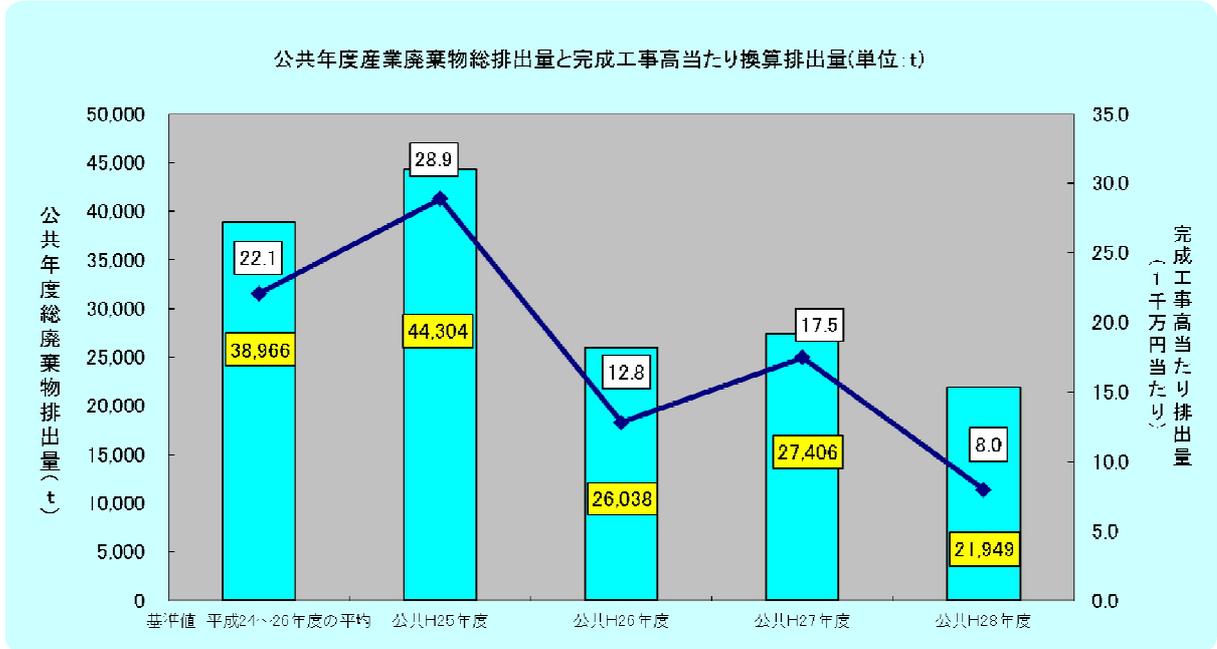
平成28年度 排出量実績 : 21,949 t 達成

内訳 ① 建築工事 12,910t

② 土木工事 9,039t

完工高(千万円)当たり目標 : 21.8 t-CO<sub>2</sub>/千万円

平成28年度 排出量実績 : 8.0 t-CO<sub>2</sub>/千万円 達成



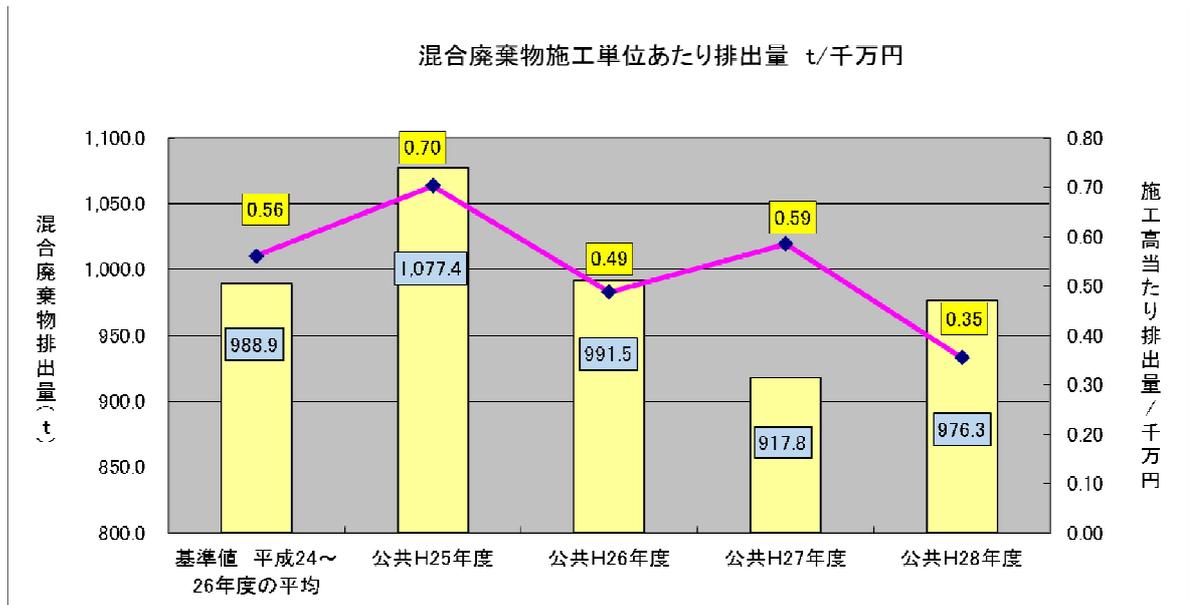
### 2) 平成25年度～平成27年度の混合廃棄物排出量の実績

混合廃棄物排出量の削減目標値 : 979.0 t

平成28年度 排出量実績 : 976.3 t 達成

完工高(千万円)当たり目標 : 0.55 t-CO<sub>2</sub>/千万円

平成28年度 排出量実績 : 0.35 t-CO<sub>2</sub>/千万円 達成

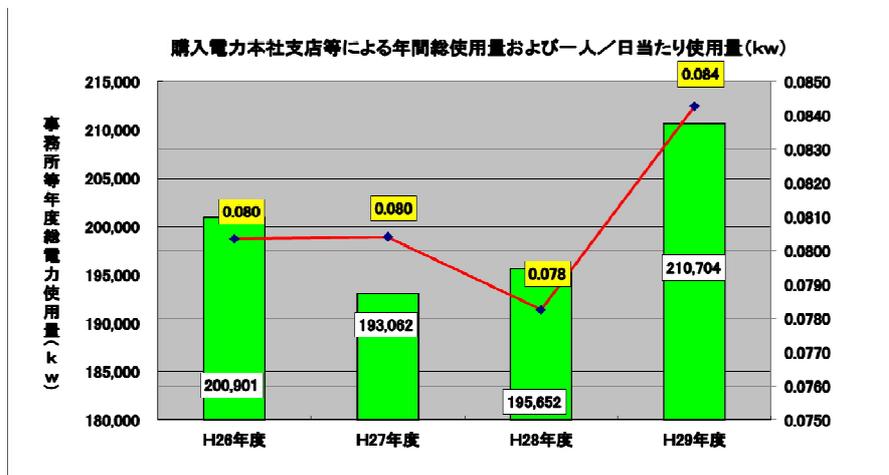


#### (4) 環境保全活動の分析・評価報告

##### 1) 電気使用量について

本社・支店等の年間総使用量は、安定した数値をここ数年確保しています。一人／日の換算電力使用量でも0.08kw／人・日前後と一定の値を示しています。今後は、この数値を維持するよう努めていきます。

個別工事の電力使用量は、大幅に増加しています。これは、個別工事の大型案件の現場事務所の設置等が増加していることが数値を押し上げているものと思われます。個別工事の受注規模や工事内容が異なるため一概には比較できない点がありますが、年度ごとの完成工事高当たりで評価しています。

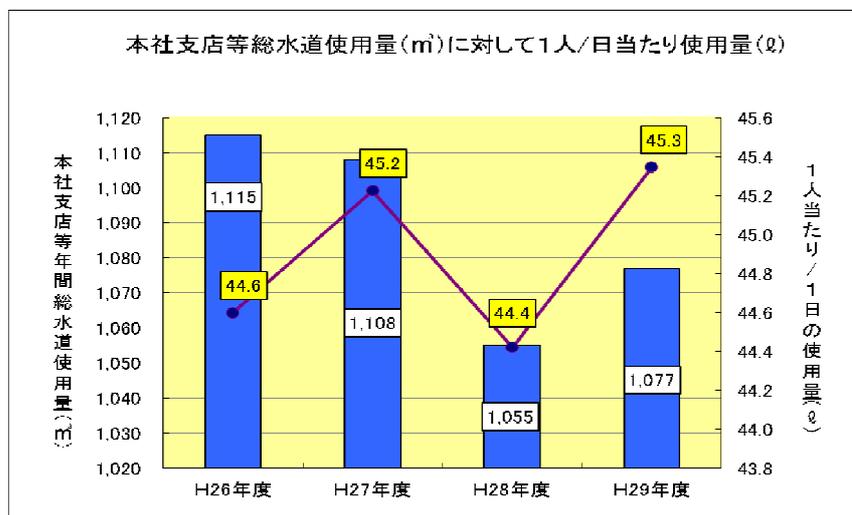


##### 2) 水資源の枯渇について

本社・支店等の年間水道使用量は、安定した数値をここ数年確保しています。一人／日の換算水道使用量は、45m<sup>3</sup>／人・日前後と一定の値を示しています。今後は、この数値を維持するよう努めていきます。

個別工事については、大型案件工事の増加や解体工事の受注量減少に伴い、使用量は小幅に減少しています。ただし、環境保全や地域の苦情軽減を配慮した散水等は、行政の調べで最も苦情の多い「ほこり」に対して、今後も十分に配慮をしていく必要があります。

水については、工事排水、地下水、雨水等を有効利用する仕組みを検討していきたいと思えます。



##### 3) 産業廃棄物排出量について

産業廃棄物の総排出量は、過去3年間の傾向を見ると増減傾向にあり、完成工事高1千万円当たりの換算排出量は、10.0～20.0t/千万円程度の範囲で横ばいを示しています。しかし、混合廃棄物の排出量については、年度によって浮き沈みがあり、3Rをさらに推進する必要があります。

また、近年は、県外工事が拡大しつつあります。県外の排出量にも配慮して行動をとる必要があります。

今後は、優良認定処理業者の有効活用を積極的に行う仕組みをつくり、安心した処理を任せられる業者と委託契約するよう努めていきます。

● 社会貢献活動

間伐材に寄与する取り組み

ふじのくに森づくり貢献証書

No. 39

平成28年10月

鈴与建設株式会社 殿

◆ふじのくに森の町内会「間伐に寄与する紙」による未利用木材搬出促進実績

区分	貴社・団体	ふじのくに森の町内会 全体 (77社)
「間伐に寄与する紙」 の使用量 (kg)	今回 93.750kg 計 1,671.875kg	460,243.785kg
間伐材 (未利用木材) の搬出促進実績 (m3)	今回 0.234m3 計 4.180m3	1,150.610m3

※現在、「ふじのくに森の町内会」に参加していただいている企業等は77社です。

ふじのくに森の町内会「間伐に寄与する紙」の使用を通じて  
静岡県豊かな森林を未来につなぐために貢献したことを証明します。

納入日	印刷物	用紙重量 (kg)
前回までの実績	平成28年9月まで	1,578.125
平成28年10月4日	鈴与コンストラクションホールディングスグループ様	93.750

- ・「間伐に寄与する紙」は森づくりに貢献します。  
企業の皆様にご支援いただいた「間伐に寄与する紙」の未利用材活用促進費は、静岡県内の適切な森林管理が行われている森林認証取得森林の間伐材の有効活用に使われます。間伐材を森林から搬出し、製紙工場で紙資源として再生されます。
- ・用紙と間伐材 (未利用木材) の関係  
「間伐に寄与する紙」は、ふじのくに森の町内会指定の間伐材チップ用原木 (絶乾ベース重量) 1 に対して、紙 (製品重量) 1 の比率で製品化するクレジット方式を採用しています。



静岡県知事 川勝平太



地域貢献の取り組み

地域貢献参加証

鈴与建設株式会社 殿

貴殿は、平成29年6月17日に  
実施した『興津駅前環境部美化活  
動』に参加したことを証明します。

工事名:平成28年度

清水港新興津ふ頭用地整備事業 (清水港)

新興津コンテナヤード舗装工事 第2工区

平成29年6月17日

興津中町自治会厚生部

興津中町自治会 興津駅前美化活動



**地域貢献活動**

日本平展望台 観光客駐車場清掃活動



NPO法人 日本平香る丘 桜植樹手活動参加



静岡市 不法投棄回収作業参加

